

# 農作業コツのコツ

【第6号】  
令和7年5月24日  
福光農業改良協議会  
砺波農林振興センター南砺班  
福光農業協同組合 営農部

早生

溝切りを確実に  
行い、田植え後1か  
月までに中干しを  
開始しましょう。

現在、水稻の生育は概ね順調です。初期茎数を確保するために、水深3cmほど（田面の高い所が一部出る程度）の**浅水管理**を徹底し、また、藻が発生した場合は水の入れ換えや軽い田干しを行いましょう。

## 水稻の生育状況

（5月20日：福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果）

| 品種名         | 田植日 |     | 草丈 (cm) |      | 株当たり茎数(本) |     | 葉齢 (葉) |     | 葉色  |     |
|-------------|-----|-----|---------|------|-----------|-----|--------|-----|-----|-----|
|             | R7  | 平年  | R7      | 平年   | R7        | 平年  | R7     | 平年  | R7  | 平年  |
| とみちから       | 5/3 | 5/3 | 22.6    | 24.1 | 6.3       | 4.5 | 5.2    | 5.1 | 4.2 | 4.1 |
| 五百万石        | 5/5 | 5/4 | 19.2    | 20.1 | 6.1       | 4.0 | 5.2    | 4.8 | 3.9 | 4.1 |
| てんたかく81 慣行苗 | 5/4 | 5/4 | 20.8    | 21.3 | 5.0       | 4.2 | 5.0    | 4.7 | 3.8 | 4.0 |
| てんたかく81 密苗  | 5/4 | 5/4 | 19.3    | 17.4 | 6.3       | 5.1 | 4.6    | 4.1 | 3.8 | 3.8 |

※てんたかく81の平年値はR4～6年の平均

（調査筆数：各2筆）

## 水稻 早生

### 1 溝切り

中干しの効果を高め、速やかに入水・落水できるよう、必ず**溝切り**を行いましょう。  
※詳しくは、「営農とくらし」のP38を参照してください。

#### ◎溝切りの効果

- ・ほ場への入水、排水が短時間に均一に行え、水管理がしやすくなる。
- ・ほ場全体が均一に乾き、出穂後20日間の湛水管理をしても収穫作業がしやすくなる。

#### ◆溝切りのポイント

- ・5m(15～17条)に1本程度を目安に、しっかりと収穫時まで残る溝を切りましょう。
- ・乾きにくいほ場や場所は（水口、枕地など）溝を多めに切りましょう。
- ・溝と溝をつなぎ、水戸尻まで確実に**連結**しましょう。

#### 乗用管理機による溝切りのコツ

- ①溝切り前に2～3日程度、軽く干す。  
ひたひた水程度まで再入水した後、溝を切る。  
（溝切り直後に落水する）
- ②ほ場が硬い場合は、走行速度を速めに、軟らかい場合は、ゆっくりと走る。
- ③枕地で旋回中はハンドルを動かさない。



### 2 中干し

#### ◎中干しの効果

- ・無効分げつの発生を抑制する。
- ・土壌の還元化による硫化水素や有機酸を抑制し、根の発育を促す。
- ・土壌の硬さを確保する。

根量が増えれば稲体が大きくなり、収量が向上

#### 中干しによる違い

適正

不十分



#### ◆中干しの開始時期

- ・中干しは、**田植え後1か月までに開始**しましょう。
- ・分げつが旺盛な場合は、早めに開始しましょう。
- ・茎数が少ない場合は遅らせましょう（特に密苗は注意）

#### 中干し開始時の目安(茎数)

とみちから(80株植) 15本/株  
五百万石(80株植) 12本/株  
てんたかく81(70株植) 19本/株

#### ◆中干しの程度

コツのコツ

中干しは、一度に干し上げるのではなく、**数回に分けて行い**、中干し後の間断かん水と合わせて**徐々に田干し**を行いましょう。

|                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 粘質田（水持ちの良いほ場）      | 長靴が少し沈む程度、田面に強いヒビ |
| 黒ボク・転作跡田（水持ちの悪いほ場） | 田面に弱いヒビ           |

ヒエやホタルイ等の雑草が散見されます。発生状況を確認し、適切に除草剤を散布しましょう。

水稲
 中生・晩生

- ・除草剤を散布して7日以上経過したほ場では、晴れた日に**軽い田干し**（1～2日）を行い、根の健全化を図りましょう。

コツのコツ
- ・その後は**浅水管理**（3cm程度）により水温・地温の上昇に努め、分けつ発生を促進し、早期に良質な茎を確保しましょう。

水稲
 直播

1
 水管理

コツのコツ

- ・苗立ち確保後は、**浅水管理**（3cm程度）の**徹底**により、分けつの発生を促しましょう。
- ・徒長気味に生育したほ場は、晴れた日に2日間程度の**田干し**を行い、根張りを良くしましょう。

2
 溝切り・中干し

- ・中干し前に溝切りを必ず行いましょう。
- ・苗立本数が多いほ場は、**中干し**が遅れると茎数が過剰になり倒伏しやすくなります。1m間の茎数が100本を目安に遅れずに開始しましょう。

直播中干し開始の目安(平年)

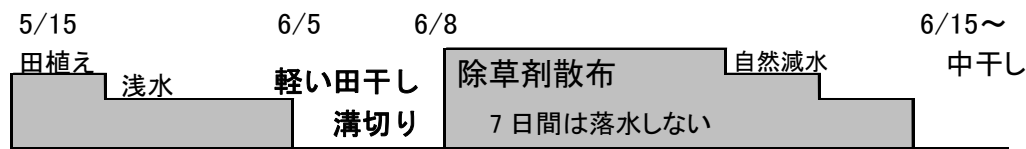
| 播種時期 | 開始時期   |
|------|--------|
| 4月末  | 6月10日頃 |
| 5月上旬 | 6月13日頃 |

中後期除草剤の使用

初期剤を使用後、残草がある場合は、**雑草の種類・大きさを確認して**適切な除草剤を選び、**遅れずに散布**しましょう。

※詳しくは、「営農とくらし」のP58～65を参照してください。

○除草剤（粒剤）散布の作業例（5月15日田植え）



中干しを適期に開始するため、除草剤散布前に軽い田干しと溝切りを行いましょう。

藻類・表層はく離対策

藻や表層はく離が**発生**しているほ場が見られます。発生が多いと、植え付けた苗が倒されたり、水温や地温が低下し、分けつの発生が抑制されます。以下の対策を実施しましょう。

- ＜対策＞・**水の入れ換え**や**田干し**を行いましょう。
- ・多発している場合は、**モゲトン粒剤**を散布しましょう。

| 薬剤名    | 10a 当たり使用量                            | 使用上の注意                                                                                                                    |
|--------|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| モゲトン粒剤 | 移植 2～3kg<br>直播 1.5～2kg<br>(総使用回数3回以内) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・藻にかかるように散布する（スポット処理が可能）。</li> <li>・他の除草剤との併用が可能（モゲトン散布2～3日後に散布すると効果的）。</li> </ul> |

大麦ほ場ではカラスノエンドウの抜き取りを徹底しましょう。  
 また、雑草は畦に放置せず、ほ場外で処分しましょう。